



2020年度来訪者調査 調査結果報告書

2021年3月

(一社) 石巻圏観光推進機構



- 調査実施概要……………P2
- 調査結果サマリー……………P3
- 調査結果詳細
 - 1. 来訪者属性……………P4
 - 2. 旅行形態……………P10
 - 3. 観光動態……………P14
 - 4. 石巻圏観光評価……………P19
 - 5. 【特別調査】コロナ禍における旅行について……………P28

□ 調査目的	石巻圏に観光目的で来訪している人へのアンケート調査を通して、【来訪者属性】、【観光行動実態】、【観光資源や受入体制に対する評価】を定量的に把握し、石巻圏観光の強みや課題を洗い出すことで、今後の観光マーケティング戦略を検討するにあたっての基礎資料を得ることを目的とする。	
□ 調査手法	留置法 …… 対象となる調査地点の施設にあらかじめ調査協力依頼を行い、施設スタッフから対象者にアンケートを依頼。自記入によって回答してもらい、その後回答済みアンケート票を回収をする形式。	
□ 。調査対象者	18歳以上の観光目的で来訪していると思われる男女（石巻市民、東松島市民、女川町民、外国人除く）	
□ 調査地点	石巻市	①宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館） ②ホエールタウンおしか ③石巻グランドホテル ④追分温泉ホテル ⑤ルートイン石巻中央
	東松島市	①東松島市震災復興伝承館 ②嵯峨溪遊覧船 案内所（あおみな） ③キボッチャ ④バリューザホテル矢本
	女川町	①シーパルピア女川（女川町観光協会） ②ホテル・エルファロ
□ 有効回答数	362サンプル	
□ 調査実施時期	2020年10月1日～2021年2月10日	
□ 聴取項目	性別／年代／居住地域／職業／石巻圏来訪目的／同行者・同行者人数／石巻圏への来訪回数 旅行形態／旅行日数／宿泊エリア／石巻圏内観光場所／消費金額(飲食代・物品購入代・交通費・施設利用料・体験参加料) 要素別満足度（交通手段・自然風景・景観・食事・物品・体験プログラム・イベント・宿泊施設・観光情報） 石巻圏総合満足度／再来訪意向／他者推奨意向／満足した点・不満だった点／コロナ禍における旅行先について	

本調査結果の要点をまとめると以下の通りである。

<p>□ 来訪者属性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女比は6割弱が男性で、年代は40代が24%で最多。以下50代、30代と続く結果に。 居住地域は宮城県居住者が48%と最も多いほか、関東地方居住者も3割弱程度みられた。 石巻圏の周遊状況は石巻市のみ訪問が最も多く、石巻圏内を2市町以上周遊している人は38%。3市町すべて周遊している人は11.6%。 石巻圏以外への訪問では仙台市内が14.9%みられ、次いで松島町が11.6%、塩竈市内が8.0%となっている。 回答者の37.8%が石巻圏を初めて訪問しており、リピーター比率は62.2%。
<p>□ 旅行形態</p>	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊旅行は全体の7割となっており、石巻圏域での宿泊は7割弱となっている一方、圏域外では仙台市内での宿泊比率が比較的高い。 旅行の同行者は、「家族・親族」(25.4%)が最も多い。 旅行形態は個人旅行が8割となっている。
<p>□ 観光動態</p>	<ul style="list-style-type: none"> 石巻圏への来訪目的は「食事・グルメ」、「自然鑑賞・散策」、「震災からの復興見学」の3項目がやや突出している。 エリア別で来訪目的をみると、石巻市と女川町の来訪者は「食事・グルメ」、東松島市来訪者は「自然鑑賞・散策」、女川町では「震災からの復興」が全体に比べて高く、エリアによって来訪目的の傾向が異なっていることがうかがえる。 石巻圏内で体験したもの・食べたものをエリア別でみると、石巻市は「いしのまき元気いちば」「サン・ファン館」、東松島市は「震災復興伝承館」、女川町は「シーバルピア女川」が最も多い。 消費金額は全体ベースで観光客1人あたり、石巻圏に宿泊が13,650円、石巻圏は日帰り2,783円。最も金額が高かった費目は宿泊費であった。
<p>□ 観光評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> 石巻圏の総合満足度は、「非常に満足」、「やや満足」の合計が64.6%となり、不満の回答はほぼなかった。 満足度を要素別でみると「自然風景・景色」、「食事」、「まちの景観」の満足度は高い一方、「入手できる情報の内容・入手しやすさ」は満足度が4割程度と全体に比べて低くなっている。 石巻圏への再訪意向は、「非常にそう思う」、「そう思う」の合計が82.3%となった。 石巻圏の他者へ推奨意向は、「非常にそう思う」、「そう思う」の合計が80.7%となり、調査エリア別では女川町(87.5%)が最も多くなった。
<p>□ コロナ禍における旅行について</p>	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における旅行先の選択については、「感染者数が少ない場所」(55.0%)、「自然が豊かな場所」(42.8%)、「車の移動が可能な場所」(40.3%)の順で選択している。